

本庄早稲田・リサーチパークニュース 2013.3

公益財団法人へ 移行にあたって

公益財団法人 本庄早稲田国際リサーチパーク
理事長 橋本 周司



当財団は2002年5月、早稲田大学、埼玉県、本庄市が中心となり設立され、2012年10月に公益認定を受け、11月1日付で公益財団法人本庄早稲田国際リサーチパークへと生まれ変わりました。

ここ10年間は、「早稲田リサーチパーク」の目標である「環境、エネルギー、情報通信、材料分野を中心とした科学技術分野の研究拠点」を軸に、本庄地方拠点都市地域の「将来的に維持される持続可能な都市（サステイナブルシティ）の実現」に向けた産学官連携の様々な事業を中心に活動を行ってまいりました。直近では、新しいまちづくりを行う「本庄スマートエネルギータウンプロジェクト」を発足し、早稲田大学や企業、本庄市や埼玉県など行政機関と連携し、地域のエネルギー問題を含めた総合的なまちづくりを進めています。また、地域企業ならびにまちづくりの人材育成に向けた様々な講座やセミナーも開催してきました。

社会経済情勢、早稲田大学や関係自治体の取組み、地域住民のニーズなど、財団を取り巻く環境は設立当初から大きく変化しております。公益財団法人への移行を機に、北関東の中心的拠点形成を目指し、さらなる産学官連携活動を展開する所存でおります。引き続き関係機関の皆様のご協力、ご支援をお願い申し上げます次第です。

創立10周年記念式典の開催

2012年11月19日、創立10周年記念式典を埼玉グランドホテル本庄で開催いたしました。当日は、来賓として鎌田早稲田大学総長、塩川埼玉県副知事、吉田本庄市長をはじめとして、奥島初代理事長、白井第2代理事長をお招きし、関係者約150名の参加をえて、会場は満席となりました。

はじめに橋本理事長より改めてこの10年を振り返り、これまでの財団の活動内容や今後の方針についての報告がありました。記念講演として、奥島初代理事長より財団設立の思いと今後への期待と題して講演が行われました。

改めて関係機関からの財団への大きな期待とその責任の重さを知り、新公益法人への第一歩のよい機会となりました。



HONJO WASEDA
RESEARCH PARK

公益財団法人 本庄早稲田国際リサーチパーク

〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011
TEL: 0495-24-7455 FAX: 0495-24-7465
<http://www.howarp.or.jp/>

次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会

■出前セミナー

今年度より会員個々の事業や技術に応じて、各社の関心事にマッチした講演会・セミナーを開催しました。

企業の事業や技術に合った専門的な技術セミナーや品質、ISO、環境教育といったセミナー等、ニーズにあった講師を選定し、事業所に派遣しました。多くの社員の方々が業務時間を割いて参加して熱心に学んでいました。

【第1回出前セミナー講演会】8月31日(金)

- 演題(1)「アルミニウム合金の溶湯品質構成要素とその影響、制御」

講師 日軽エムシーアルミ株式会社 技術顧問 工学博士 北岡 山治 氏

- 演題(2)「ADC12 の機械的特性におよぼす介在物、破断チル層の影響」

講師 早稲田大学 創造理工学部研究科 総合機械工学科専攻 教授 吉田 誠 氏

【第2回出前セミナー講演会】1月25日(金)

- 演題「バリ取り技術の最新情報」 「セラミック用金型の製造技術紹介」

講師 ものづくり大学 製造学科 ものづくり研究情報センター長 教授 市川 茂樹 氏



北岡顧問の講演



吉田教授の講演



市川教授の講演

■モノづくり受発注大商談会 in 大田への出展支援

新規取引先の開拓や情報収集のため、大田区、品川区を中心に全国の製造企業が一堂に会する大規模な商談会が大田区産業振興協会の主催で行われています。新規ビジネス獲得の一助として当会員の参加を支援しています。

【第45回モノづくり受発注大商談会in大田】10月5日(金)

10月5日(金)に第45回モノづくり受発注大商談会in大田が開催され、研究会会員企業から5社が参加しました。

参加企業：350社(発注100社、受注250社)



【第46回モノづくり受発注大商談会in大田】2月8日(金)

2月8日(金)に第46回モノづくり受発注大商談会in大田が開催され、研究会会員企業から3社が参加しました。

参加企業：250社(発注70社、受注180社)



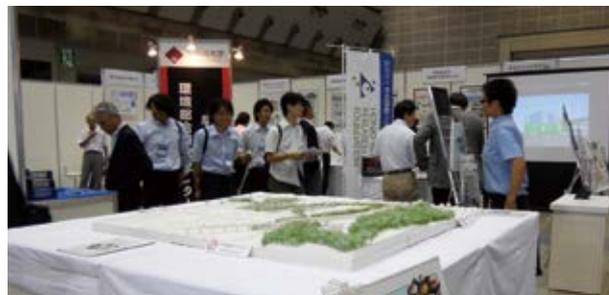
「EVEX(電気自動車開発技術展)2012/スマートプロダクツ2012」 「彩の国ビジネスアリーナ2013」「おおた工業フェア」に出展

■ EVEX2012/スマートプロダクツ2012

2012年9月19日(水)から21日(金)まで東京ビッグサイトで開催されたEVEX2012(主催:電気自動車開発技術展実行委員会)及びスマートプロダクツ2012(主催:スマートプロダクツ実行委員会)に早稲田大学環境総合研究センター、関係企業と合同で出展しました。

次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会、本庄スマートエネルギータウンプロジェクトの紹介、本庄早稲田駅周辺のジオラマ、スマートハウスや電動バスの模型展示、ビデオ(CG画像)上映などを行いました。

また、研究会やプロジェクトの会員からは、(株)秋山製作所、(株)木屋製作所、(株)フィアロコーポレーション、クリアフォームジャパン(株)、ポーライト(株)、東京千曲産業(株)、NTTデータカスタマーサービス(株)、日本電気(株)、(株)前川製作所、(株)早稲田環境研究所の計10社が、自社製品の実演や展示を行いました。期間中は昨年の3倍近い約66,600人と非常に多くの来場者があり、当財団のプロジェクト、会員企業をPRできるよい機会となりました。



財団ブースの様子

■ 彩の国ビジネスアリーナ2013

2013年1月30日(水)から31日(木)まで「彩の国ビジネスアリーナ2013」(主催:埼玉県ほか)に早稲田大学環境総合研究センターと合同で出展しました。次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会、本庄スマートエネルギータウンプロジェクトの紹介、本庄早稲田駅周辺のジオラマや電動バスの模型展示、ビデオ(CG画像)上映などを行いました。

また、日本電気(株)が当財団と取り組む環境省委託事業を、(株)早稲田環境研究所が小型ULV(実物)を紹介しました。約16,500人が来場し、当財団をアピールすることができました。



彩の国ビジネスアリーナ会場風景

■ 第17回おおた工業フェア

2013年2月7日(木)から9日(土)まで「第17回おおた工業フェア」(主催:大田区ほか)に出展し、次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会の会員企業などから、(株)秋山製作所、野口精機(株)、(株)野口製作所、PLAMO(株)、E.T.E(株)、群馬合金(株)、ポーライト(株)の計7社が自社製品を紹介しました。総来場者数は4,850人で、2月8日には受発注大商談会も開催され、全250社の企業が集まり活発な商談が行われました。

今後も新分野進出や販路拡大などにつながる展示会等へ積極的に参加していきます。



会場風景

第5回食の安全シンポジウム

11月11日(日)に「第5回食の安全シンポジウム」を開催しました。当日は講演や、地元の食品メーカーや農産物生産者による「本庄がんとバーガー」など食品、食材や農産物の販売や、ポニー広場のイベントなど、盛り沢山の内容で、約350の方にご来場いただきました。

講演では、農水省有機農業JAS判定員の安部司氏を招き、「本当の食の豊かさとは何か」をテーマとして、「加工食品の舞台裏」についてお話しいただきました。食品添加物のおかげで、楽に簡単に食事をする事ができますが、何を得て何を失ってきたのか。実際に食品添加物を使ったデモンストレーションでは、「食の危機」を実感することができました。

また、当財団や早稲田大学、企業が取り組んでいる「本庄スマートエネルギータウンプロジェクト」を地域の皆様にご紹介しました。地産地消の拡大が食の安全に大きく寄与するという認識に立ち、地元の食品加工メーカー・農産物生産者、及び地域の消費者との連携を深めることができました。



安部氏の講演

■本庄早稲田「食の安全・いちば」の会のご紹介

“いちばの会”は本庄地域の食品加工メーカーが集まり、消費者に本物の食材を提供することで食の安全・健康な食生活・安心できる街づくりを目的に、2009年9月に結成されました。

エコツアー、キッズ料理教室や講演会の開催、農作物の植え付けや収穫など、食に関する色々な活動を地域の方々と共に行っています。ご関心のある方は当財団にご連絡ください。



キッズ料理教室

【2012年度活動内容】	
エコツアー（春）：もっと地元を知ろう「上里&児玉方面」	5月22日
料理教室（キッズキッチン）：お父さんと料理	6月3・17日
キムチ造り：夏野菜を使って	6月14日
パン作り：天然酵母パン	6月30日
文化伝統料理：小学校実習授業	7月11日
料理教室（キッズキッチン）：夏休み特集	8月10日
講演会：タカコナカムラ講師「塩麴講座・実演調理・試食昼食会」	10月8日
第5回食の安全シンポジウム	11月11日
エコツアー（秋）：もっと地元を知ろう「神川町&神泉方面」	11月27日
料理教室（キッズキッチン）：冬休み特集	12月24日
キムチ造り：冬野菜を使って	1月12日
研修講演会：竹下和男講師「できるを伸ばす」	1月18日
親子「味噌作り体験&醤油工場見学」	2月2日
料理教室（キッズキッチン）：春休み特集	3月29日
農産物：植え付け、手入れ、収穫など	随時

本庄早稲田の杜 里山塾2012

■エクスカージョン2

9月29日(土)

「本庄のまちの成り立ち～まちへ出よう～」をテーマに本庄の中心市街地にある元小山川や中山道へエクスカージョン(遠足)を実施しました。

元本庄市立歴史民俗資料館長の増田一裕氏を講師に迎え、まちの成り立ちに果たした河川等の地理的環境や街道を中心に時代ごとに変化するまちの役割一軍事、交通、経済の拠点一についての講義、その後、元小山川の河川段丘や名所・史跡を巡るまち歩きを行いました。



■エクスカージョン3

11月17日(土)

「所沢キャンパスにおける人と自然の共生」をテーマにバスに乗り早稲田大学所沢キャンパスを訪問し、施設内を見学しました。

大堀 聡先生の案内で所沢キャンパスの湿地帯や雑木林を散策し、早稲田大学の自然保護の取り組みについてお話を聞きました。

冬休み親子スーパーサイエンス教室

2012年12月16日(日)、本庄早稲田の杜冬休み親子スーパーサイエンス教室を開催いたしました。

この事業は、早稲田大学本庄高等学院と当財団が共催で、本庄市児玉郡地域の小中学生に科学の楽しさ知ってもらう目的で毎年冬に実施しています。当日は、「タッチセンサーをつくろう」「風力発電機をつくろう」「手作りおもちゃをつくろう」の3講座を実施しました。

「風力発電機をつくろう」では、発電機とLEDと紙を使って、大型風力発電機のミニチュア模型を作りました。子どもたちはプロペラ部分を組み立てるのに一苦労。完成品を風に向けて風力発電を楽しんでいました。



「手作りおもちゃをつくろう」では、紙ヒモを使って『かみつきへび』をつくりました。参加した子どもたちは保護者に手伝ってもらい夢中になって作っていました。完成した『かみつきへび』に指を入れると、抜けなくてビックリ!子どもたちの歓声が1日響く、楽しいサイエンス教室になりました。

国際理解教育講演会

2月4日、本庄市立本庄西中学校において国際理解教育講演会を開催しました。

1年生と2年生合計260名の生徒が参加し、早稲田大学大学院国際情報通信研究科の留学生の母国紹介—バングラデシュ、スリランカ、トルコ、アンゴラのプレゼンテーションを熱心に聞いていました。クイズコーナーでは生徒たちの元気の良さに留学生もビックリ！後日生徒より感想が届きましたので、その内の二通を抜粋して紹介いたします。



●中学2年生女子

バングラデシュとアンゴラの国旗の赤い部分は、かつて独立した時に内戦が起こったことでの死者の血として色が着けられているのを知って、バングラデシュとアンゴラは、とても悲しく、苦しい現実を歩いてきたのだと思いました。

●中学2年生女子

日本には戦争がありません。地雷もありません。学校には当たり前に通っています。でもそれが難しい国があるという事を知りました。

感想文を英訳して留学生に配布したところ、アンゴラの留学生から「涙がこみあげてきた」とのメール返信がありました。

2012年度はこの他に本庄高校や小学校PTAとの交流研修会を新たに実施した他、小中学校9校で国際理解授業を開催し、多くの皆さまから好評をいただきました。今後も多文化共生社会の実現に向け、実りある国際理解・国際交流に全力で取り組んでまいります。

アグリエクササイズ



■餅つき・注連縄づくり

12月22日(土)

早稲田リサーチパークコミュニケーションセンターでアグリエクササイズの「餅つき・注連縄づくり」を開催しました。

当日は地域の人たちを講師に迎え、餅つきと注連縄づくりを行いました。餅つきは初めての参加者もあり、おっかなびっくり。つきあがった餅はあんこやイチゴを入れて大福にして参加者でおいしくいただきました。

■どんと焼き

1月11日(金)

大久保山の北側の実験農場で地域の伝統行事の「どんと焼き」を実施しました。どんと焼きは、刈り取り跡の残る田に竹で櫓を組んで、その年飾った門松や注連飾りを持ち寄って焼く年中行事で、その火で焼いた餅を食べることで、無病息災を祈願するものです。

当日は、アグリエクササイズの参加者、早稲田大学学生、地域住民が集まり、初春の青空のもと賑やかに実施しました。



本庄早稲田塾 ～中堅社員・専門研修を開催～

■中堅社員研修

11月6日(火)と13日(火)の二日間にわたって開催した「幹部候補育成研修」では、中堅社員や幹部候補の方など38名が参加。グループ討議などを通してリーダーシップやチャレンジ精神の向上、経営指標の基礎知識と後輩育成指導などを熱心に学びました。



幹部候補育成研修の様子

■専門研修

7月24日(火)に開催したビジネス文書研修から始まって、9月11日(火)にはメンタルヘルス研修、12月4日(火)と11日(火)には品質管理研修、2月12日(火)にはクレーム対応研修と、4講座の研修会を開催しました。どの研修会にも多くの方々が参加され、専門的かつ実践的な内容を学習しました。



クレーム対応研修の様子

—ものづくり再生は早稲田から— 第二期早稲田若手経営者ビジネススクール

今期で二期目を迎えた早稲田若手経営者ビジネススクールでは、埼玉県内の中小企業経営者および幹部候補等の意欲的な受講生が早稲田大学鶴飼信一教授の下、個々の経営課題をテーマに解決策や新たな事業計画策定に取り組んでいます。このビジネススクールの特徴は、下町ボブスレー推進委員長を務める㈱マテリアル細貝社長や日本電鍍工業㈱伊藤社長など業界で最注目若手経営者をゲスト講師に招き、実践的な経営手法を習得することが可能であり、少人数ゼミ形式によって受講生同士の相互啓発やネットワークづくりをすることが目標です。3月末の修了式では、1年間の成果である経営課題についての研究発表の後、鶴飼教授から修了証が手渡され、新たに卒業生のネットワークが広がります。

また、4月より第三期のスタートにあたり、受講生を募集しております。

チャレンジ精神旺盛な経営者、未経験者でも歓迎しますので、奮ってご応募ください。



中央：ゲスト講師 日本電鍍工業(株)
伊藤麻美社長

●担当 池田、中根 Tel.0495-24-7455

特別セミナー ―強い中小企業をつくる経営改革とは―

2013年3月8日に、不況を乗り越え、中小企業を強くすることをテーマに、特別セミナー「強い中小企業をつくる経営改革とは」を開催いたしました。

■第1部 「町工場の星、ダイヤ精機株式会社 代表取締役 諏訪 貴子氏に学ぶ新経営改革」

コーディネーターには、早稲田大学 鷗飼 信一教授、講師には、日経ウーマン「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2013」など多くの賞を受賞されているダイヤ精機株式会社 諏訪 貴子氏をお招きし、不況を乗り越え躍進する企業経営とは何か?急成長させた経営改革とは?を対談形式でその核心に迫りました。

■第2部 「今から始める中小企業の省エネ・環境対策のポイント」

講師には、株式会社早稲田環境研究所 代表取締役 中嶋 崇史氏をお招きし、企業の省エネ・環境対策について具体的な導入事例を交えて解説され、今後の企業の環境対策の新たな視点となりました。

■平成25年度 本庄早稲田塾の研修会予定 ～ぜひご活用ください～

新任管理監督者研修 6月下旬	主に新たに管理職になられた方を対象に、管理監督者として必要な「知識・役割・マネジメント能力」等を理解し、組織を担う管理監督者の基本事項を習得します。
生産管理入門研修 7月中旬	“ものづくり”の考え方を理解するとともに、生産現場における「Q(品質)・C(コスト)・D(納期)・M(やり方)・S(安全)」といった生産管理の基本的な考え方を学びます。
計数感覚向上研修 9月上旬	採算分析の基礎を習得し、採算性を考えながら行動するポイントをつかむと共に、財務諸表の分析を通じて自社の問題を発見し、「改善案を立案」するスキルを養います。
段取り力向上研修 10月中旬	“仕事の効率化”を高めるために、自分自身の仕事の進め方を見直し、「段取り良く仕事を進めていくためのスキル」を学びます。
クレーム対応研修 12月上旬	企業へのクレームは複雑・多様化し、対応次第では企業の経営・業績に大きな影響を及ぼします。クレームを“企業のプラス要素”として捉え、「顧客の信頼獲得」と“新規開拓”に活かせる方策を体得します。
幹部候補育成研修 2月中旬	企業を背負って立つ中堅社員のモチベーションやチャレンジ精神を向上させると同時に、「仕事の管理」や「問題解決能力の向上・リーダーシップ・後輩育成指導」を学びます。

いずれも ●会 場：早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター

●受講料：1日あたり6,000円（テキスト代を含む）

募集などの詳細につきましては、当財団HP等で順次お知らせいたします。



HONJO WASEDA
RESEARCH PARK

公益財団法人 本庄早稲田国際リサーチパーク

〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011
TEL: 0495-24-7455 FAX: 0495-24-7465
<http://www.howarp.or.jp/>